



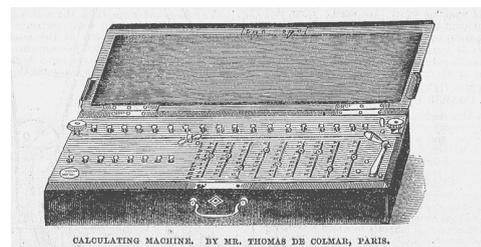
小学生が1日で19×19まで かんぺきに暗算できる本



連載の第2回となります。第1回を読まれていない方は[こちら](#)をお読みください。

まず最初に考えたいのは「計算力は真っ先にAIに代替される能力なので、暗算を鍛えるのは時代錯誤なのではないか」ということです。確かに計算能力単体で見ると、AIに代わりにやってもらうことはできるでしょう。しかし私はこれからの時代も、計算能力はまだまだ必要だと考えています。

計算機が発明されたのは1818年。コルマーさんという方が発明したのだそうです。それから開発が進み、1963年に今の電卓が作られました。



その後パソコンが普及し、エクセルなど表計算ソフトも使われるようになりました。しかし、暗算を全く使わない時代は未だ訪れておりません。

そもそも、仕事というのは、何か一つ単体の能力から生み出されることは極めて稀です。計算力だけでできる仕事なんて、昔から存在しなかったと思うのです。仕事とは「コミュニケーション能力」「論理的思考力」「想像力」「粘り強さ」「言語力」「自己管理能力」などなど、様々な能力を総動員して行うものです。そのような汎用的な能力の中の1つに「計算力」も位置付けられるのではないのでしょうか。

だから私は、これから先も、計算力は必要な能力だと考えています。